

### 「赤磐市障害者自立支援協議会（ピーチネットあかいわ）」とは？

赤磐市に住んでいるすべての障がいのある人が幸せに暮らしていくために、当事者やその家族、支援者、行政など、さまざまな関係者が集まり、話し合い、行動していく協議会です。



ピーチくん

### 令和5年度全体会・研修会

令和5年6月29日に、全体会を久しぶりに対面で開催しました。今回はZOOMでも配信し、ハイブリッド方式で行いました。全体会では、令和4年度の事業報告及び決算、令和5年度の事業計画及び予算案、新役員の選出について提案し、賛同を得られました。

その後、講師に社会福祉法人旭川荘たかはし松風寮指定相談支援事業所の間野敏志氏をお迎えし、「相談支援からみる災害時対応や地域での取り組み～西日本豪雨災害から5年を迎えるにあたって～」をテーマに研修会を開催しました。相談支援専門員としての立場、また、ご自身も被災した立場から講演して下さり、様々な立場の方に届く言葉でお話をしてくださいました。



### 令和5年度の活動報告

#### ★くらす部会

8月にわかたけカフェにて「くらす部会カフェ」、10月にまちづくり部会と合同で「防災についての研修会」、1月に市内にあるグループホームの説明会と、部会を3回開催しました。防災に関しては赤磐市消防署の方々との距離が縮まったと実感することができ、くらす部会カフェやグループホームの説明会も活発で有意義な部会になりました。これからも赤磐市にある資源を活用しながら、安心できる暮らしを考える部会づくりをしていきたいと改めて思いました。



#### ★そだつ部会

『子育てについて考えよう』というテーマで、第1回を令和5年10月11日に、第2回を令和5年12月13日に部会を開催しました。第1回は、卒業後の進路について考えようということで、就労継続支援A型、B型の事業所の方々から実際の働く様子や、工賃の違いなど具体的に話をさせていただきました。第2回はペアレントプログラムを基に、みんなでこどものギリギリセーフ行動について考え合いました。どちらの回も、保護者、支援者、相談支援専門員、行政担当者など所属や立場を越えて、話し合うだけでなく、つながりも広がっていました。



#### ★はたらく部会

令和5年7月1日（土）赤坂健康管理センター大ホールにて「福祉就労フェア」を開催しました。約150名が来場し大盛況でした。今回は市外の近隣事業所も参加していただき、焼き菓子・パン・手芸品等の販売や作業体験も取り入れ「はたらく」について発信できました。工夫を凝らした各事業所紹介のパネルやDVDもあり、ご来場くださった方が興味深く見られました。また、市外の自立支援協議会の視察もあり、「素晴らしいフェアでした」とのお声をいただきました。



#### ★まちづくり部会

9月20日（水）に中央公民館で①障がい福祉サービスの情報提供の充実、②事例から見える地域課題の整理を内容に意見交換・共有を行いました。参加者25名。福祉サービス事業所や相談支援事業所の認知度が低い。学校、将来の生活に不安がある。親たちそれぞれの思いを話せる場を復活してほしい。緊急や災害時に本人を安心して任せられるところがほしい。ホームページが探しにくい。以上のような課題が整理され、意見交換がなされました。10月18日（水）に赤磐消防本部で「緊急時の対応について消防署の方からお話を聞いてみましょう」をテーマに、くらす部会と合同研修を開催しました。



#### ★権利擁護ワーキンググループ

令和5年12月14日、講師に社会福祉法人旭川荘 せとうち旭川荘の寺町清二氏をお迎えし、「意思決定支援について考える」をテーマに研修を行いました。本人の想いに気付くには、「聴く・見る・話す」「その記録が大切」等。時間・関係性・環境（人・物）によって本人の想いが違ってくるので、本人の想いを支援者自身のフィルターで捉えないようにしましょう！とのアドバイスがありました。講演後は寸劇があり、その後はグループワークを行いました。意思決定支援について、皆で深める時間を持ち、日頃の支援の振り返りの機会になりました。



#### ★青年部ワーキンググループ

青年部ワーキンググループでは、コロナ禍で福祉施設等の職員同士の交流が少ないという課題に着目し、感染状況に留意しながら今年度から来年度にかけて、福祉施設職員の座談会を開催したいと話合っています。開催が決まればご案内しますので、お問い合わせの上、ご参加ください。



111

#### ピーチくんの豆知識【児童発達支援センターとは】

あかいわ児童発達支援センター 所長 平中 健

市町村に1カ所以上設置という国の方針により、平成29年に『あかいわ児童発達支援センター もみじの家』ができました。

児童発達支援センターの役割としては、「児童発達支援、地域の障がい児やその家族への相談、施設への援助・助言」等が挙げられています。さらに「障がいの重度化・重複化や多様化に対応する専門的機能の強化」を図った上で、「地域における中核的な支援施設」として、一般の事業所と密接な連携を図ることとされています。

当児童発達支援センター『もみじの家』では、療育の他に、保育所等訪問支援『てつなぎ』を実施したり、障がいのあるお子さんの相談をお受けしたりしています。また、他事業所との密接な連携の場として、赤磐市内の児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所などが集まる情報共有の場や勉強会を主催しています。（会の名前は『ぐらでーしょん』です。）

地域にお住まいの「障がいをお持ちの子どもさん」の相談を受け付けています。お気軽にどうぞご利用ください。



#### ★春15(いちご)の会

特別支援教育のニーズのある子どもたちの進路（中学卒業後）について、YouTube配信（令和5年8月10日～9月11日）と、学校関係者と保護者が会しての情報交流会（8月26日）を開催しました。3回目の開催となった今年度は、対面開催もでき、「今後も続けて欲しい」という保護者の方々からの声を、たくさんいただきました。

#### ★赤磐商工会と勉強会を開催

令和5年7月12日に赤磐商工会事務局長、赤磐市商工観光課、協議会の運営会議のメンバーで勉強会を行い、互いの活動を紹介し、情報共有をしました。事務局長から「もっと、協議会の活動を皆さんに知ってもらうことが必要」とアドバイスをいただきました。今後もこのような勉強会を継続できたらと思います。

#### 新規事業所

構成団体の仲間が増えました！

森の365日：日中一時支援  
ぐんぐんタッチ：児童発達支援・放課後等デイサービス  
ぐんぐんアシスト：保育所等訪問事業  
かえでの家：児童発達支援・放課後等デイサービス  
ともにホーム夢の木：日中サービス支援型グループホーム  
みなとかぜ：就労継続支援B型



【通信に関するお問い合わせ先】  
●赤磐市障害者自立支援協議会事務局  
赤磐市役所 りんくステーション  
●連絡先  
086-955-0555